

児童生徒質問紙調査の結果と考察(質問項目を一部抜粋)

HP公開

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」、「している」「どちらかといえばしている」等の合計

※数値は上段が所沢市、下段()内は全国の数値を記入

※全国平均よりも高い項目は、数値(%)を網掛け表示

質問項目	小学6年生	中学3年生
1 学校生活、自尊感情、将来への夢に関する項目		
①自分には、よいところがあると思いますか	87.8% (86.9%)	86.7% (86.2%)
②将来の夢や目標を持っていますか	86.5% (83.1%)	69.4% (67.5%)
③学校に行くのは楽しいと思いますか	87.3% (86.5%)	85.5% (86.1%)
④先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	94.3% (92.2%)	94.1% (92.2%)
⑤友達関係に満足していますか	91.9% (91.7%)	91.0% (91.4%)
⑥普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか (「よくある」「ときどきある」と回答した割合)	92.4% (93.0%)	90.0% (91.6%)

小・中ともに、多くの項目で全国平均を上回っている。また、教師が「よいところを認めてくれている」と感じる割合も 94.3%と非常に高い。所沢市では自己肯定感を育む「心のエネルギー・プロジェクト」事業を推進しており、その成果が表れたものと考えられる。

2 人としての考え方に関する項目	小学6年生	中学3年生
①人が困っているときは、進んで助けていますか	93.3% (93.7%)	92.7% (90.9%)
②いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.1% (97.2%)	95.6% (95.9%)
③人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.2% (96.4%)	96.8% (96.6%)
④自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.8% (78.1%)	77.9% (79.2%)

多くの項目が全国平均と同等であり、90%を超えていることから、児童生徒の道徳性が育まれていると考えられる。「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じる中学生の割合は全国平均を下回っている。小・中ともに教科等の授業や特別活動において、他者の考えに触れる活動をとおすなどして、引き続き主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

3 家庭・地域・社会とのかかわりに関する項目	小学6年生	中学3年生
①地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)	37.5% (39.4%)	26.7% (29.5%)
②地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	81.8% (81.3%)	73.2% (75.3%)

項目①において、地域の大人との関わりを実感できている児童生徒の割合は全国的に低く、本市も同様の傾向にある。しかし、項目②において、小6は 81%以上、中3は 73%以上の児童生徒が地域や社会への貢献活動に意欲的であることが分かる。「社会に開かれた教育課程」の具現化に向け、本市においてはコミュニティ・スクールの取組も活用しながら、学校・家庭・地域との連携強化を図っていく。

4 学習に対する意欲、理解等に関する項目	小学 6 年生	中学 3 年生
①分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか	82. 1% (81. 7%)	79. 4% (77. 5%)
②あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	87. 4% (83. 3%)	89. 0% (84. 3%)
③学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	85. 9% (84. 9%)	86. 9% (84. 7%)
④5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	82. 8% (80. 3%)	82. 0% (77. 7%)
⑤5年生まで(1、2年生のとき)に、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	76. 2% (68. 6%)	77. 1% (63. 0%)
⑥5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	80. 8% (79. 6%)	77. 4% (75. 4%)
⑦学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか	79. 2% (79. 4%)	75. 4% (73. 4%)
⑧授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	83. 0% (82. 5%)	75. 8% (74. 8%)
⑨道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	89. 9% (88. 0%)	94. 2% (91. 5%)
⑩国語の勉強は好きですか	58. 1% (58. 3%)	57. 4% (57. 9%)
⑪国語の授業の内容はよくわかりますか	86. 3% (82. 8%)	74. 4% (77. 0%)
⑫算数(数学)の勉強は好きですか	54. 2% (57. 9%)	54. 3% (53. 8%)
⑬算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか	78. 8% (78. 3%)	69. 3% (70. 3%)
⑭理科の勉強は好きですか	77. 2% (80. 1%)	59. 0% (63. 8%)
⑮理科の授業の内容はよくわかりますか	88. 8% (88. 9%)	65. 9% (71. 4%)

小・中ともに、多くの項目で全国平均を上回っている。各学校において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が進んでいるものと考えられる。特に項目②では、全国との差が小学校で4.1ポイント、中学校では4.7ポイントと、大きく上回っている。また、項目④⑤⑥⑦においても肯定的に回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率・IRT スコアが高い傾向にあることから、各校においての工夫・改善が図られた成果であることが考えられる。引き続き「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に取り組み、授業の質的向上を図っていく。

5 調査問題に関する項目	小学 6 年生	中学 3 年生
①国語の問題で、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか(「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合)	82. 0% (81. 7%)	68. 3% (65. 3%)
②国語 解答時間は十分でしたか	64. 5% (73. 9%)	64. 8% (67. 8%)
③算数(数学)の問題で、解答を言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く(説明する)問題がありました。どのように解答しましたか(「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合)	74. 9% (74. 5%)	57. 6% (54. 9%)
④算数(数学) 解答時間は十分でしたか	78. 1% (80. 4%)	69. 3% (73. 2%)

小・中ともに、国語・算数(数学)の記述式問題に対して「最後まで解答を書こうと努力した」と回答する児童生徒の割合が全国平均を上回っている。また、各問題に着目すると、正答率が県や全国平均を上回っている問題や、無回答率が県や全国平均を下回っている問題もあり、これまでの学習の成果と言える。各学校においては、自校の結果を分析し、実態に応じて対策を講じていく必要がある。

6 ICT活用に関する項目	小学 6 年生	中学 3 年生
①5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(週1回以上)	89. 2% (89. 7%)	88. 5% (92. 2%)
②あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか	84. 2% (81. 8%)	85. 8% (83. 6%)
③あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか	91. 0% (89. 8%)	92. 5% (91. 5%)
④あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか	73. 0% (69. 3%)	68. 5% (63. 3%)
⑤あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか	83. 8% (76. 7%)	85. 3% (76. 6%)
⑥学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除き、1時間以上)	16. 9% (19. 6%)	11. 9% (13. 7%)

小・中ともに多くの項目で全国平均を上回っている。特に、項目②⑤に肯定的に回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率・IRTスコアが高い傾向にある。市としてICTの活用を推進するとともに、各校においてICTの有用性や有効性を生かした取組が成果に現表われたものと考える。引き続き、学習における児童生徒のICT活用能力を育成していく。

7 家庭学習、読書に関する項目	小学 6 年生	中学 3 年生
①学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)どれくらい勉強しますか(学習塾、家庭教師、インターネットでの学習を含む、1時間以上と回答した割合)	54. 2% (54. 0%)	67. 9% (61. 6%)
②あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(26冊以上と回答した割合)	70. 6% (63. 1%)	67. 3% (58. 0%)
③学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む、教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。30分以上と回答した割合)	32. 6% (31. 1%)	21. 2% (21. 4%)
④読書は好きですか。	68. 5% (69. 7%)	61. 3% (61. 6%)

家庭学習の時間に係る項目①において、中3の生徒の家庭学習時間が全国平均を大きく上回っており、今回、調査結果に影響を与えた要因と考えられる。今後も引き続き、家庭との連携を図りながら、児童生徒の発達の段階に応じた学習計画の立て方や学び方を促すなどの、学習習慣の改善に向けた指導を行っていく。

読書に係る項目②③④において、「家庭にある本の冊数が多い」「読書が好きである」と回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率・IRTスコアが高い傾向が見られるため、引き続き読書活動の充実に努めながら、主体的に読書に親しむ児童生徒を育成していく。